

水害から
命と暮らし
を守る

公共メディアキャンペーン 水害から命と暮らしを守る 「みんなで助かるために」



毎年のように各地で水害による被害が発生しています。地域の防災力向上を目的に、おとしスタートした公共メディアキャンペーン防災減災。取り組みは全国の各局に広がっています。

今年度は「みんなで助かるために」をテーマに、さまざまな取り組みを実施します。防災・減災について、放送やデジタル、イベントなどを通して地域のみなさまとともに考えていきます。

1.【若い世代に向けた働きかけ】

大人は“正常性バイアス”にとらわれがち

「こわい」「早く逃げよう」という正しくこわがる素直な気持ち

避難のきっかけの約3割は「周囲の声かけ」※

※平成 30 年 7 月豪雨に係る住民避難アンケート(NHK)より

■デジタル世代へ「みんなで助かるコール」

避難のきっかけとなるのが家族や周囲からの声かけです。デジタル情報へのアクセスが早い若者たちに、避難行動を促す防災の担い手になってもらえるよう呼びかけます。

ふるさとの おばあちゃんへ 編 (なかやまきんに君出演)



配達員のきんに君

仕事中に故郷の福岡市で大雨を知らせる通知が！

電話をかけるきんに君！おばあちゃんは嬉しくて、電話を切りたがらない…

「避難の情報が出たから暗くなる前に逃げてね。」

■子どもたちへ

・防災ソング『こわがりヒーロー』

子ども向け SDGs 番組シリーズ「ひろがれ！ いろとりどり」と連携して、防災ソング「こわがりヒーロー」を制作しました。歌をとおして、災害を正しくこわがること、避難を呼びかけることの大切さを歌詞に込めています。Eテレ「あおきいろ」で紹介するほか、「みんなのうた」にも展開予定です。



・ポケット防災カード「子ども向け版」を制作

いざという時に“みんなで助かる”ための防災カードです。保護者と離れた場所で災害にあった時に困らないよう、「連絡先」「アレルギーなど体のこと」を記し、携帯してもらいます。全国のNHKの各局に配布し、地域の防災講習や出前授業などで活用していきたいと考えています。



連絡先、避難場所、アレルギーなど必要な情報を書きこめる

親子が一緒に書き込むことで、防災を考えるきっかけにも

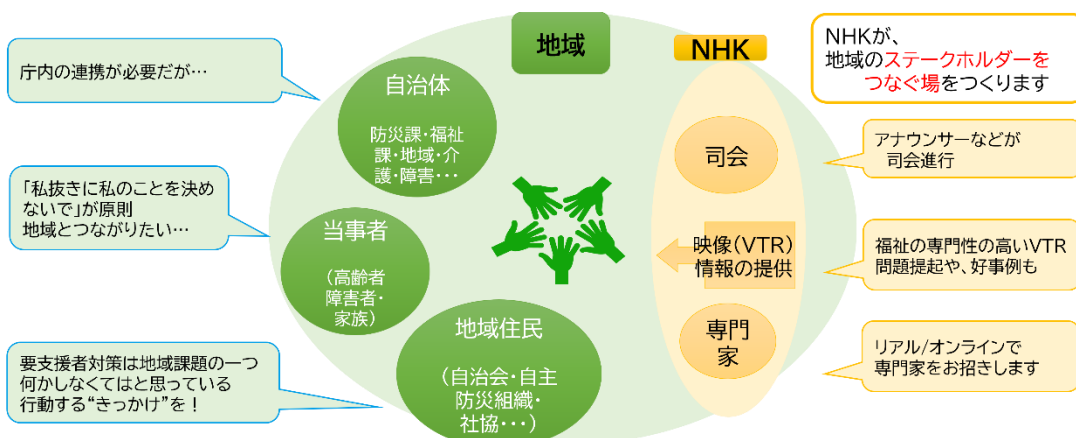
2.【地域と協働で防災を考える】

■地域ミーティング #みんなで助かるために

災害時に自力での避難が難しい高齢者や障害者をどう支えるか。去年5月、要支援者に対する「個別避難計画」の作成が市町村の努力義務になりました。地域の人たちや自治体、専門家を交えた「地域ミーティング」の開催を呼び掛けていきます。公共メディアとして、福祉と防災を結びつけ、地域に直接働きかける取り組みです。ことし3月に福岡県久留米市と東京・国立市で実施。今後、全国へ展開予定です。

去年5月「個別避難計画」(要支援者ごとに作成)が市町村の努力義務に

ねらい： 障害者・高齢者等が災害時に助かるためには、地域住民の協力が必要です。地域全体が要支援者について考えることで、地域防災力の向上と、よりよい地域づくりにつなげます



■「実感！ハザードマップ」は今年度も自治体などと連携して実施



水害リスクを“自分のこと”として捉えてもらう「実感！ハザードマップ」。実際の風景にハザードマップで想定されている浸水の深さをAR(拡張現実)で表示するアプリを使うなどして実感できます。去年はNHKの33の放送局・営業センターが70の自治体と連携し、意識の変容につなげようと取り組みました。今年度は、「地域ミーティング」や「学校への出前授業」などで展開予定。全国の各局が参加して「地域」にこだわった取り組みを行っていきます。

3.【地域のニュース番組などで情報発信】

・特集「かわ知り」首都圏はじめ地域放送局で

地域のニュース番組で、身近な川の危険性や特徴をお伝えしていきます。その地域の具体的な情報にこだわり、水害の危険を「自分ごと」と感じてもらうことを目指します。今年度は、首都圏局や関東各局に加え、順次、各地に広げていく予定です。



・「防災・復興 明日をまもるナビ」 NHK G 毎週日曜日 午前10時5分

5月15日(日)の放送から6月いっぱいにかけては、水害関連の番組を毎週放送予定。